



## 2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年8月9日

上場会社名 株式会社ヨコオ 上場取引所 東  
 コード番号 6800 URL https://www.yokowo.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 徳間 孝之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員常務 (氏名) 横尾 健司 (TEL) 03-3916-3111  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	13,235	7.4	630	2.2	835	21.7	578	10.4
2018年3月期第1四半期	12,324	18.7	617	14.5	686	265.0	524	—

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 478百万円(△40.9%) 2018年3月期第1四半期 808百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	28.60	28.49
2018年3月期第1四半期	26.01	25.88

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	38,068	23,480	61.7
2018年3月期	37,030	23,284	62.9

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 23,471百万円 2018年3月期 23,275百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	8.00	—	14.00	22.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	10.00	—	12.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,500	7.0	1,250	△5.1	1,450	3.9	1,050	△2.0	51.90
通期	54,500	5.0	3,000	△4.3	3,200	9.9	2,350	0.5	116.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年3月期1Q	20,849,878株	2018年3月期	20,849,878株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	618,921株	2018年3月期	621,385株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年3月期1Q	20,229,475株	2018年3月期1Q	20,145,105株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の本資料に記載されている業績見通し等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における売上高は、すべてのセグメントが前年同期比で増収となり、132億3千5百万円（前年同期比+7.4%）となりました。営業損益につきましては、前年同期比で車載通信機器セグメントが黒字となったものの、回路検査用コネクタ及び無線通信機器の両セグメントが減益となったことから、6億3千万円の利益（前年同期比+2.2%）となりました。経常損益につきましては、円安による為替差益2億円を計上したことなどにより、8億3千5百万円の利益（前年同期比+21.7%）と、前年同期比で大幅な増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、一時的要因により税金費用が増加したものの、経常増益により、5億7千8百万円の利益（前年同期比+10.4%）と、前年同期比で増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ① 車載通信機器

当セグメントの主要市場である自動車市場は、米国市場の堅調な推移に加え、中国市場とアセアン市場の順調な伸長により、着実に拡大を続けております。国内におきましては、軽自動車が堅調に推移しましたが、登録車の販売減により、新車販売台数は前年を下回りました。

このような状況の中、主力製品であるシャークフィンアンテナ/GPSアンテナをはじめとする自動車メーカー向けアンテナは、国内・海外ともに販売が伸長し、前年同期を上回りました。また、フィルムアンテナなど国内向けを主とする製品については、新車販売台数の減少により前年同期を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は92億2千8百万円（前年同期比+7.9%）と、前年同期比で増収となりました。セグメント損益につきましては、中国における製造労務費は依然として高い水準にあるものの、セグメント売上高に対する比率が若干改善し、部品・製品の輸送費用も減少したことなどから、1億4千7百万円の利益（前年同期は1億3千4百万円の損失）となりました。

#### ② 回路検査用コネクタ

当セグメントの主要市場である半導体検査市場は、スマートフォン向けの成長鈍化に加え、メモリー需要に一服感がみられたものの、車載向け、サーバー向けの増加により、全体としては成長が継続するものとみられております。

このような状況の中、当社グループの主力製品であるBGAソケット等半導体後工程検査用治具の販売は、主要顧客の生産調整などにより、前年同期を下回りました。また、高周波電子部品検査用MEMSプローブカードを戦略製品とする半導体前工程検査用治具の販売は、当社製品の品質及び耐久性の大幅な向上による交換需要減などにより、前年同期を下回りました。一方、当セグメントに含めておりますLTCC事業につきましては、インターポージ基板/LED基板などの販売が大幅に伸長し、前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は22億7千6百万円（前年同期比+1.2%）と、前年同期比で若干の増収となりました。セグメント損益につきましては、比較的利益率の高い製品の売上比率低下、将来の事業規模拡大に向けた製造要員大幅増による固定費増加などにより、1億7千6百万円の利益（前年同期比△60.2%）となりました。

#### ③ 無線通信機器

当セグメントの主要市場である携帯通信端末市場は、スマートフォン/タブレット端末の伸びが鈍化している一方、ウェアラブル端末は多様化・高機能化により今後の成長が見込まれております。POS端末市場は、物流/製造を始めとする幅広い業界において、情報管理による業務効率化実現の観点から着実な成長を続けております。また、ヘルスケア/産業機器などの他市場も成長が期待されております。

このような状況の中、微細スプリングコネクタを中核製品とするファインコネクタ事業におきましては、携帯端末メーカー向けの販売が受注減により落ち込んだものの、POS端末/ヘルスケア市場向け販売の堅調な推移により、売上高は前年同期を上回りました。

当セグメントに含めております医療・デバイス事業につきましても、国内顧客向けユニット製品販売の堅調な推移に加え、部品販売が増加したことにより、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は17億2千9百万円（前年同期比+13.7%）と、前年同期比で増収となりました。セグメント損益につきましては、製品・事業ミックスの変化などにより、3億6百万円の利益（前年同期比△1.0%）となりました。

## (事業セグメント別連結売上高)

(単位：百万円、%)

	前第1四半期 自2017年4月 至2017年6月	前四半期 自2018年1月 至2018年3月	当第1四半期 自2018年4月 至2018年6月	前年同期比	前四半期比
	売上高	売上高	売上高	増減率	増減率
車載通信機器	8,554	9,792	9,228	+7.9	△5.8
回路検査用コネクタ	2,248	2,481	2,276	+1.2	△8.2
無線通信機器	1,521	1,570	1,729	+13.7	+10.1
合計	12,324	13,843	13,235	+7.4	△4.4

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間(上期)の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の実績及び直近の受注見通しを踏まえ、セグメント別売上高を下表のとおり修正いたします。営業利益につきましては、回路検査用コネクタセグメントにおける売上高減少に伴う減益などから、下方修正いたします。経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、想定為替レート変更に伴う為替差益約2億円を見込み、下表のとおり修正いたします。通期の業績予想につきましても、上期と同様の理由から、下表のとおり修正いたします。

なお、想定為替レートは、本年8月以降当期末まで1米ドル=110円(当初予想は1米ドル=105円)と変更しております。

## 第2四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年9月30日)

(単位：百万円、%)

	当初予想 (2018年5月10日公表)	修正予想	増減	増減率
売上高	26,500	26,500	—	—
車載通信機器	17,900	18,450	+550	+3.1
回路検査用コネクタ	5,400	4,500	△900	△16.7
無線通信機器	3,200	3,550	+350	+10.9
営業利益	1,700	1,250	△450	△26.5
経常利益	1,600	1,450	△150	△9.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,150	1,050	△100	△8.7

## 通期(2018年4月1日～2019年3月31日)

(単位：百万円、%)

	当初予想 (2018年5月10日公表)	修正予想	増減	増減率
売上高	54,500	54,500	—	—
車載通信機器	36,700	37,700	+1,000	+2.7
回路検査用コネクタ	11,000	9,600	△1,400	△12.7
無線通信機器	6,800	7,200	+400	+5.9
営業利益	3,600	3,000	△600	△16.7
経常利益	3,500	3,200	△300	△8.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,500	2,350	△150	△6.0

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,596,903	5,788,442
受取手形及び売掛金	11,485,490	10,975,284
商品及び製品	4,076,180	4,115,045
仕掛品	296,374	364,186
原材料及び貯蔵品	2,961,544	2,932,671
その他	996,277	1,155,734
貸倒引当金	△12,468	△13,440
流動資産合計	24,400,302	25,317,924
固定資産		
有形固定資産	8,976,952	9,304,954
無形固定資産		
その他	573,852	585,131
無形固定資産合計	573,852	585,131
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	131,292	138,614
その他	2,947,616	2,721,882
投資その他の資産合計	3,078,909	2,860,496
固定資産合計	12,629,714	12,750,582
資産合計	37,030,017	38,068,506
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,765,479	6,143,477
短期借入金	2,239,539	2,330,237
1年内返済予定の長期借入金	1,600,000	1,600,000
未払法人税等	269,468	107,419
賞与引当金	500,489	296,140
その他	2,659,228	3,399,122
流動負債合計	13,034,205	13,876,396
固定負債		
退職給付に係る負債	159,683	160,927
その他	551,975	550,695
固定負債合計	711,659	711,623
負債合計	13,745,864	14,588,019
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,996,269	3,996,269
資本剰余金	3,981,928	3,981,928
利益剰余金	14,519,069	14,813,116
自己株式	△729,046	△726,193
株主資本合計	21,768,221	22,065,120
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	636,087	573,906
為替換算調整勘定	564,846	545,210
退職給付に係る調整累計額	306,716	287,369
その他の包括利益累計額合計	1,507,651	1,406,485
新株予約権	8,280	8,095
非支配株主持分	—	785
純資産合計	23,284,152	23,480,487
負債純資産合計	37,030,017	38,068,506

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	12,324,911	13,235,258
売上原価	9,952,945	10,856,183
売上総利益	2,371,965	2,379,075
販売費及び一般管理費	1,754,728	1,748,170
営業利益	617,236	630,905
営業外収益		
受取利息	2,240	2,124
受取配当金	14,598	17,297
外国税還付金	78,819	123
為替差益	—	200,389
その他	10,755	17,177
営業外収益合計	106,413	237,113
営業外費用		
支払利息	18,894	21,972
為替差損	1,827	—
保険解約損	14,124	3,326
その他	2,136	7,033
営業外費用合計	36,983	32,332
経常利益	686,666	835,685
特別利益		
固定資産売却益	58	449
投資有価証券売却益	258	—
特別利益合計	317	449
特別損失		
固定資産除却損	37,955	2,183
特別損失合計	37,955	2,183
税金等調整前四半期純利益	649,028	833,951
法人税、住民税及び事業税	123,094	92,132
法人税等調整額	1,922	162,462
法人税等合計	125,017	254,594
四半期純利益	524,011	579,356
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	774
親会社株主に帰属する四半期純利益	524,011	578,581

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
四半期純利益	524,011	579,356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	192,340	△62,181
為替換算調整勘定	97,068	△19,626
退職給付に係る調整額	△4,479	△19,347
その他の包括利益合計	284,929	△101,154
四半期包括利益	808,941	478,201
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	808,941	477,416
非支配株主に係る四半期包括利益	—	785

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,554,688	2,248,947	1,521,275	12,324,911	—	12,324,911
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	39,831	—	39,831	△39,831	—
計	8,554,688	2,288,778	1,521,275	12,364,742	△39,831	12,324,911
セグメント利益又は損失(△)	△134,249	443,709	309,674	619,134	△1,897	617,236

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)のその他△1,897千円は、主に親子会社間の内部取引の相殺であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,228,939	2,276,934	1,729,384	13,235,258	—	13,235,258
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	31,129	—	31,129	△31,129	—
計	9,228,939	2,308,063	1,729,384	13,266,387	△31,129	13,235,258
セグメント利益	147,187	176,645	306,660	630,493	411	630,905

(注) 1. セグメント利益のその他411千円は、主に親子会社間の内部取引の相殺であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。